

「生成 AI の利活用について」

学生の皆さんへ

ChatGPT をはじめとして、文章や画像等を生成する高度な技術を持つ AI（生成 AI）が急速に普及しています。

生成 AI の利活用については、ブレインストーミング、論点の洗出し、情報収集、文章校正、翻訳やプログラミング補助等、主体的な学びの支援として効果的であり、知的探究心や情報活用スキル、その他生成 AI を活用する能力の向上に役立つものであります。生成 AI を活用することは、利便性や生産性を向上させ、これからの時代の暮らしや社会の変容を導く可能性を秘めています。

本学の学生は、以下について留意し、生成 AI を適切に利活用してください。

（留意事項）

・生成 AI の不確実性について

生成 AI の出力内容には不正確な情報や矛盾する情報も含まれます。生成 AI は正しいとは限らない大量の情報に基づいて確率的にもっともらしい情報を作ります。このため、全くのたまたまにもかかわらず、さも正しい知識であるかのような出力がなされることもあります。また、差別や偏見が含まれる場合もあります。生成 AI の出力内容を鵜呑みにして利用することはあってはなりません。正しい内容なのか、誤った内容なのかの裏付けをしっかりと取り、自身で確認することが重要です。常に出力内容を批判的に分析するように心がけてください。

・著作権・情報の漏洩およびプライバシー・人権の侵害について

未発表の研究成果や秘密にすべき情報（機密情報、個人情報やプライバシー情報等）を生成 AI に入力してしまうと、入力内容が生成 AI に学習され、それらの情報が意図せず流出・漏洩したり、プライバシーや人権を侵害する違法行為となる可能性があります。また、生成 AI に限らず、AI ツールの生成物には他者の著作物に類似した文章等を出力する場合があります、著作権や意匠権上の問題が存在する可能性が示唆されています。生成 AI の使用にあたっては、著作権等の権利関係の遵守、情報漏洩のリスク、プライバシー保護といった点に十分に配慮してください。

・不正行為について

レポートや課題、学位論文等を作成する際には、引用元や参考とした資料など、根拠となった出典を明記した上で、自分なりの考えを記載することが求められます。生成 AI で文章を生成し、そのまま課題への回答としてしまうのではなく、個々人のアイデアや独創性を保つことを意識してください。もしも、生成 AI の出力内容を書き写したことが確認された場合、盗用や剽窃とみなし、不正行為と判断することがあります。大学の取り決めに従い、不正行為については厳格な対応を行います。

引き続き、本学としても政府や文部科学省の方針等を踏まえ、本留意事項の見直しを続けていきます。

参考：大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_01260.html

大和大学